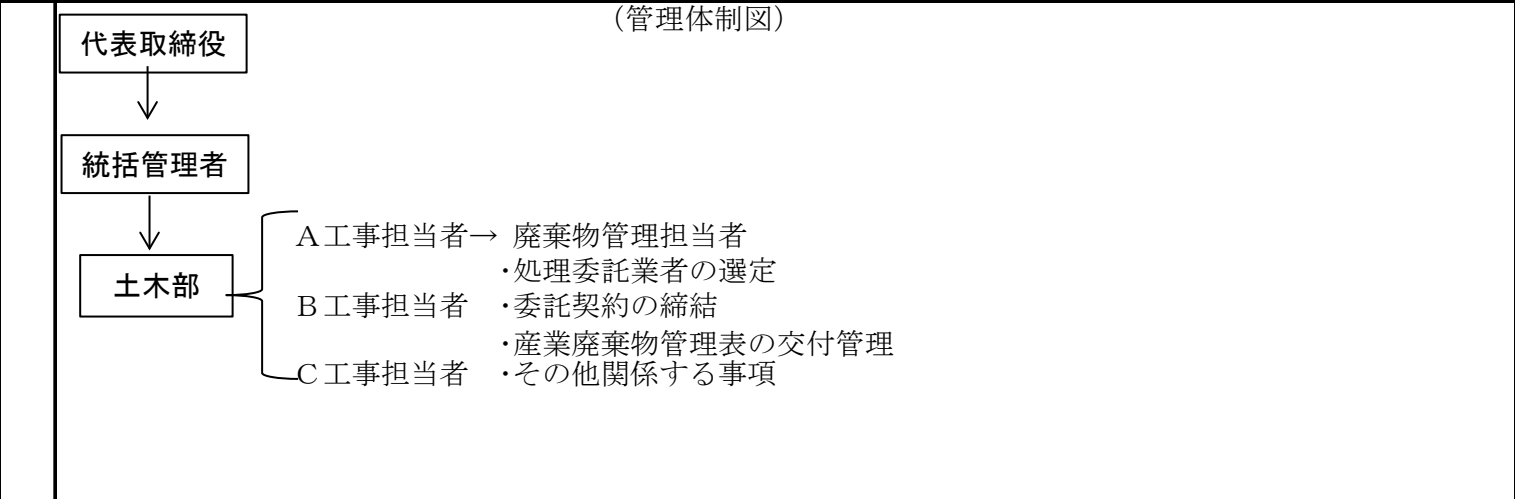


様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 5 月 26 日	
群馬県知事 殿	
提出者 〒377-0312 住 所 群馬県渋川市小野子1839番地2 氏 名 株式会社佐藤建設工業 代表取締役 佐藤晃一 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0279-59-2306	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 佐藤建設工業
事業場の所在地	群馬県渋川市小野子1839番地2
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合工事業
②事業の規模	1億1,439万円(2024年度元請完成工事高)
③従業員数	43人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>工事に伴い発生した産業廃棄物 → 収集運搬(委託)又は(自社運搬) → 中間処理(委託) → 再生資材 ↓ 埋立処分(委託)</div>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】										
		汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	13号廃棄物
	排出量	0.72 t	0.67 t	7.08 t	0.15 t	209.8 t	0.00 t	2.58 t	0.01 t	885.1 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)										
	・ 産業廃棄物発生時に分別を徹底している。 ・ 発注先との協議を実施。 ・ 汚泥は水分を含まないように管理。 ・ 施工時には、手戻り・手直しをしないよう手順の確認をする。										
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	13号廃棄物
	排出量	0.65 t	0.60 t	6.30 t	0.10 t	180.00 t	0.00 t	2.30 t	0.00 t	800.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)										
	・ 資材の発注の際、余剰がないようにする。 ・ 材料の梱包材などはできるだけまとめて、排出量を少なくする。 ・ 上記は受注量・工種・施工方法等により産廃発生量が予測し難いため、目安とする。										

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、木くず、金属くずは分別を実施するとともに、他の廃棄物が混入しないように保管。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に加え、がれき類についても分別を実施。 混合廃棄物を削減する。 廃プラスチック類は、焼却する物と破砕するものに分ける。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) ・ 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) ・ 今後も実施の予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	(これまでに実施した取組) ・ 特に実施していない。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 今後も実施の予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	13号廃棄物
	全処理委託量	0.715 t	0.67 t	7.08 t	0.15 t	209.83 t	0.00 t	2.58 t	0.01 t	885.124 t	0.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.55 t	0.67 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	0.715 t	0.67 t	7.08 t	0.15 t	209.83 t	0.00 t	2.58 t	0.01 t	885.12 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	（これまでに実施した取組） ・委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。 ・優良認定処理業者の処理の委託を積極的に行う。										

②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	13号廃棄物
	全処理委託量	0.65 t	0.60 t	6.30 t	0.10 t	180.00 t	0.00 t	2.30 t	0.00 t	800.00 t	0.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.50 t	0.60 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	0.65 t	0.60 t	6.30 t	0.10 t	180.00 t	0.00 t	2.30 t	0.00 t	800.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) ・再生利用、熱回収が可能である産廃物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。 ・優良認定処理業者から選定する。 ・電子マニフェストを積極的に利用する。											
※事務処理欄											